

読む人の幸せを心に願って作る

# 喜びのタネまき新聞

No.  
660

〈対面する大切さ〉

先日、コロナ禍で延期や中止になっていたダスキン加盟店との勉強会や表彰式が3年ぶりに開催されました。私も対面での会合に久しぶりに出席し、とても新鮮に感じました。

この数年は人と会う機会がほとんどなくなり、WEB会議など画面を通じての会話が中心となりました。効率的とも言えますが、対面での会話では、相手の表情や周囲の雰囲気を感じ取ることが出来ます。

世の中は効率化や機械化が進み、店舗に足を運ばず、そして対面せずとも買い物ができるなど便利になりました。今後もいろいろな商品や、さらに便利なサービスが生まれてくると思います。しかし私たちは機械を動かすことはあっても機械になるわけではなく、「人としての温もり」を大切にしなければなりません。

その温もりは、人と会ってコミュニケーションを図るなかで感じられるものであり、そこで信頼関係も生まれるのではないのでしょうか。私自身はあまり話し上手ではありませんが、人が集う場所に出かけると新たな発見があります。友人とおしゃべりをする。ボランティア活動に参加する。地域の催しに出席する。買い物に出かける。

何気ない日常ですが、人と会って会話をすることが、日々の生活に潤いを与えてくれるのだと思います。

※イラストはイメージです



## 長崎県

ときめきフルーツバス停通り

諫早市内の国道207号沿いを中心に果物形のバス停が点在。メロン、イチゴなど全5種類が16ヶ所にあります。

株式会社ダスキン会長

山村輝治



一年を通じて島の各所で凧揚げ大会が開催されている



大きさや絵柄はさまざま、田端さんは特注で作ることも多い



島一番の名人である田端さん。凧づくり25年以上の大ベテラン



上空で映えるように、絵柄は力強く鮮やかな配色で描かれる



勇ましく唸り  
子の成長を願う凧

# ばらもん凧



鋭い牙を持つ鬼が  
武者の兜に噛みつく様を  
描いた、印象的な絵柄

五島に代々伝わる  
鬼に立ち向かう  
「元気者」

長崎県の西に浮かぶ、大小約150の島々からなる五島列島。そのなかで最も大きな島である福江島では、子どもの初節句の際に祖父や父親が「ばらもん凧」を贈る風習が受け継がれています。

ばらもんとは、「活発な元気者」という五島の方言「ばらか」が由来と言われています。

「上半分は、鬼に噛みつかれても正面から立ち向かう武者の後ろ姿で、全てのばらもん凧に」

約2年かけて乾燥させます。骨組みは軽ければ軽いほど良いため、田端さんは竹を削って調整しながら左右対称に組みあげていきます。そして、大きさに応じて和紙や布を張り、着色。最後に凧を揚げるための根糸と、弓のような形の「うなり」を上部に取り付けて完成です。

この「うなり」が、ばらもん凧の大きな特長。空に揚げると、風を受けて弦が「ビュン、ビュン」と独特の音を鳴り響かせます。その力強い音が子どもの厄を払うと言われ、凧を揚げながら子どもたちの無事な成長を祈願するのです。

## 島の空に鳴り響く 凧が奏でる凧の音色

福江島では、五島バラモン凧揚げ振興会が主体となつて、一年を通じて凧揚げ大会が開催されています。5月の節句には大きな大会が開催され、標高315メートルの鬼岳に島中のばらもん凧が集合。山頂からビュンと幾重もの音を響かせ、個性豊かな凧たちが大空を舞う様は圧巻です。

「少しでも多くの人にばらもん凧に触れてほしい」と、田端さんは自作の凧をお祭りやイベントの抽選景品として無償で提供しており、それを目当てに集まる人も多いとか。また、初節句を迎える子どもたちのなかから選ばれた子の名前を凧に描き、市長が直接贈る行事もあるそうです。

共通した絵柄です。下の絵は作り手によってさまざま、いわば腕の見せどころ。私は武者の顔を描いています。そう教えてくれたのは、五島バラモン凧揚げ振興会の田端久世さん。

ばらもん凧の全長は約2メートルあり、1枚作るには約1週間かかるそう。「昔は各家庭で祖父や父親が作っていたものだから、作り方も人それぞれ。私も、父と兄が作ってくれたのを思い出しながら作り始め、25年を経てやっと今の形が完成しました」と田端さんは語ります。

骨組みに使われる孟宗竹は、採ってきてから火であぶり、



凧づくりの流れ。人によって作り方は異なるという

近年では、ドラマで取り上げられたことから「ばらもん凧を見てみたい！ 作ってみたい！」と全国から訪れる人が後を絶ちません。島では公民館で講習会を開いているほか、観光客向けに制作体験を行うなど、作り手を目指す人の輪も広がっています。

子どもの成長を願って揚げられる、ばらもん凧。祖父から父、父から子へと脈々と受け継がれてきた勇ましい凧が、今日も美しい島の空から子どもたちを見守っています。

ばらもん凧のふるさと

### 長崎県五島市福江島

五島列島最大の島である福江島は、雄大な自然美にあふれ、ドラマや映画の撮影地としても知られています。この島で育てられる「玉之浦椿」は世界的にも有名で、鬼岳にある椿園は国際優秀椿園に認定されています。

# 台所の相談室

春は、わかめやめかぶなどが旬を迎える海藻類の季節でもあります。調理法をひと工夫して、海藻を食卓の主役として楽しみませんか？

FILE 43

## 海藻は切り方を変えるだけで口当たり良く、新鮮な味わいに。

わかめが張り付く感じ、分かります。私も年齢を重ねるごとに、かむ力の変化を実感しますが、こればかりはうまく付き合っていくしかありませんよね。

わかめであれば、切り方を少し工夫するだけで口当たりが良くなり、新鮮な味わいになります。

例えば、たたいて細かくしたり、フードプロセッサーでペースト状にしたものをスープなどの汁物に入れると緑も映えてきれいですよ。豆腐や生野菜のサラダに添えたり、麺料理に薬味野菜と一緒にのせるのもおすすめです。

昆布は、極々細切りにすると食べやすくなります。相性の良い梅干しと合わせて佃煮に。牛肉と炒め合わせれば、昆布が主役のおかずにもなります。炊きたてのご飯に混ぜてもおいしいですよ。

今回のレシピは、わかめに旬のじゃがいもとじゃこを合わせて

### 今回のお悩み

私は、海藻が大好きです。しかし高齢の母は、わかめや昆布のどに張り付く感じがして苦手だと言います。年齢を問わずおいしく食べられる海藻料理を教えてください！（岡山県・女性）



天ぷらにしてみました。油で揚げることで、わかめがサクツとした食感に仕上がります。余談ですが、料理を撮影する時に油が飛び散り、スタッフが青ざめました。水分があると油が跳ねるので、小麦粉をまぶしたら5分ほど置いて、衣を落ち着かせてから揚げるのがポイントです。

ひだかずを  
飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『料理家・飛田和緒 シンプルで作りたいくなる、傑作レシピ選』（オレンジページ）をはじめ、著書多数。



## わかめと

## じゃがいも、

## じゃこの天ぷら



Answer Recipe

### 【材料(2人分)】

- わかめ(水で戻したもの).....60g
- じゃがいも.....1個(150g)
- ちりめんじゃこ.....10g
- 小麦粉.....大さじ3くらい
- 揚げ油.....適量
- 塩.....適量

### 【作り方】

- 1 わかめは、ひと口大よりも少し小さめに切る。じゃがいもは、皮をむいて細切りにする。
- 2 ①が乾かないうちにボウルに合わせ、ちりめんじゃこを加えて小麦粉を少しずつふる。まずは和えるようにして、しっとりしてきたらふるのをやめる。なかなかしっとりしない場合は、水を小さじ1ずつくらい加えてしっとりさせる。
- 3 ②を5分ほど置いて衣が落ち着いたら、4~5等分にして170度の揚げ油に入れてカリッと揚げる。表面が色付いてきたら上下を返し、全体で3~4分揚げて引き上げる。
- 4 揚げ油をよく切り、好みで塩をふって食べる。

飛田和緒の  
ふんしゅお



天ぷらといえば衣づくりが基本ですが、今回はそれがありません。具材の水気と小麦粉を馴染ませてしっとりさせれば衣は出来上がり。衣も厚くなりすぎず、カリッと揚がりますよ。今回は、具材を切る、小麦粉をまぶす、油で揚げるというシンプルな3ステップで完成です。ただしこの調理法は、具材の水気が多いものに限ります。

### 台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？  
お便りをお待ちしています。  
宛先は裏表紙をご覧ください。



# ほほえみのひろば



## 孫からの誕生日祝い

北海道釧路市 本間幸子さん

私の誕生日は、4月23日。81歳を迎えた日に、60歳も年の離れた孫からバースデーカードが届きました。

そのカードには、「日本一元気な81歳だと思っています。いつまでも元気で、長生きしてください。いつも優しいおばあちゃんが好きです。お誕生日おめでとう」とメッセージが書かれていました。

なんてうれしい言葉でしょう！カードをくれた孫に感謝しながら、これからも美しい世の中になるようにと願って過ごしたいと思います。



おはあ様に似た  
とても優しい  
お孫さんですね！

## 趣味の時間

岩手県花巻市 藤原道雄さん

春を迎え、そろそろ気温も暖かくなってきたので畑仕事や花づくりに挑戦しようと思っています。

今の季節であれば、チューリップなど、色とりどりの花を咲かせる植物を育ててみたいです。

園芸の他にも趣味があり、仏画を描いたり、ちぎり絵を作って部屋に飾ることも好きな事に取り組んでいると、心がほっこり和みます。

これからもさまざまな事に挑戦して、日々を楽しみたいです。



のどかな春を  
満喫できる  
素敵な趣味ですね！

## 二胡に挑戦

熊本県山鹿市 池田梅子さん

私の趣味は、二胡を弾くこと。二胡とは中国の弦楽器で、バイオリンのような美しい音色が魅力です。始めたきっかけは、二胡の公民館講座に参加したことでした。

音感のない私にとって、楽器の演奏はとても難しいことですが、脳のトレーニングにもなり、友人にも会えるため今まで続けることが出来ています。

また家で弾いていると、飼猫のミーちゃんが静かに耳を傾けてくれるのです。その姿に癒やされながら、これからも練習に励みたいと思います。



難しい二胡  
挑戦する前向きな姿、  
見習いたいです！

## 【燈々無尽】

### それぞれの持ち味

赤い人参、白い大根、真っ黒なごぼう、これらは味が全部違います。さらに肉、魚などを一つの鍋の中に入れて煮つめるのが心を一つにすることだと思ふのです。

皆さんお一人お一人がもってられる持ち味を、そのまま一つ鍋の中に入れて、それを煮つめて、

あなたの持ち味を出していただきたいのです。

ダスキン創業者 鈴木清一

## 土いじりの春

福井県越前市 道正志津子さん

4月に入り、すっかり春の陽気を感じるこの頃。いよいよ本格的な土いじりのシーズンが到来です。

私は小さな草花が大好きで、春になると植物の手入れを楽しんでいます。玄関前の植木鉢には「待ってましたー」とばかりに、新芽が次々と顔を出し始めました。土に触れ、その香りを嗅いでいると、とても幸せな気分になります。

草花を愛でて対話することで、相思相愛の関係を築いていきたいと思っています。



たっぷりの愛情で育ち、  
花を咲かせてくれる日が  
待ち遠しいですね。

## ツクシでたっぷり

東京都足立区 村上ちえ子さん

私の母は、老人ホームに入所しています。以前は、ジューズや衣類を直接手渡ししていたのですが、コロナ禍で今は受付の職員さんに預けるだけになってしまいました。

ある日、母の元へ向かう途中で可愛らしいツクシを発見。2本摘んで、差し入れと一緒に職員さんへ渡しました。すると翌日、老人ホームのブログに「春のお裾分け」というタイトルで、ツクシを見て喜ぶ母と皆さんの姿が掲載されていたのです！

たった2本のツクシでしたが、たくさんの方の笑顔が見られて、うれしくなりました。



春を感じる素敵な差し入れ。  
早く以前のように  
面会できると良いですね。

## お花の交換

鳥取県鳥取市 山田令子さん

我が家の前には児童公園があり、子どもたちや親子連れでにぎわっています。

ある日、いつものように家の花壇の手入れをしていると、4〜5歳くらいの女の子が突然「この花、あげる」と言って、オレンジやピンクの小さな花をくれたのです。きっと、近くに咲いていたのでしょう。

お返しに赤、白、黄色のチューリップを渡すと「ありがとう、また来るね」とうれしそうにして公園へ戻っていきました。小さくて可愛い出会いに、こちらまでうれしくなり、心が温まりました。



思いがけない交換会。  
ハッピーが広がる、  
素敵なワンシーンですね。

## 愛の輪通信



このコーナーについては  
ダスキン愛の輪基金まで。  
☎06-6821-5270

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業  
第36期ジュニアリーダー育成グループ研修生  
立教大学大学院修士課程在学中 青木悠弥さん(全言)

当時の期待感と緊張感は  
今でも忘れられません

ジュニアグループ研修のことを知ったのは、大学の進学先に悩み始めていた高校1年生の冬でした。違う世界に生きる頭の良い人たちが行くものだと思っていた留学に、自分が行くこと。そして「すごい」と驚くような個性と能力を持った同世代の仲間とともに踏み出す、期待感と緊張感は今でも忘れられません。

同時に、多くの方々のご支援で挑戦出来ることへの責任感も感じていました。「良いものをイギリスから日本に持ち帰りたい」と強く願いながら、日本から出国しました。



一緒に研修に行った仲間とともに



愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。



読者の皆様からお送りいただいた  
素敵な1枚をご紹介します。



桜前線がやってきた!  
岡山県岡山市 南葉 里子さん



はかま姿がお似合い!  
熊本県水俣市 森本 由美子さん



こいのぼりに大はしやぎ  
三重県松阪市 奥 恵美子さん



まるでルピナスの楽園  
埼玉県富士見市 山崎 佐知子さん

ダスキン といっしょに始めよう!  
エス ディー ジー ス  
**SDGs かるた**

こ  
こ  
こ  
まめに消すのが  
エコのコシ

こ  
コツコツと

解説  
コンセントを抜いたり、スイッチ付きタップを  
利用したりして、日頃から節電を。小さな  
積み重ねが、大きな変化になるはず!

あなたのお便りや写真をお寄せください

うれしかったことや、誰かに聞いてもらいたいことなど、  
身近な話題をお寄せください。心よりお待ちしております。

◎送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33  
株式会社ダスキン広報部  
「喜びのタネまき新聞」編集室  
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

◎お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- ご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- 作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、ご返却は致しかねますのでご了承ください。
- 本号は、2023年2月に制作したものです。状況によって記載内容が変更となる場合がございます。

バックナンバーはこちらから!

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!

引越しのお手続きは  
〈ダスキンコンタクトセンター〉  
担当店・Webページ・0120-100100まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集: 広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

**0120-100100** [www.duskin.co.jp](http://www.duskin.co.jp)